



渋谷区立松濤中学校

令和2年12月10日

学校だより

世界へ松濤中生 Grow(自立) Respect(尊重) Create(創造)

## 「持ちつ持たれつ」

校長 小幡 政明

12月10日は、「人権デー」です。これは、世界的な取り決めです。国際連合は、1948年12月10日、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての人々と全ての国とが達成すべき共通の基準として、**世界人権宣言**を採択し、**12月10日**を「**人権デー**」と決めました。日本では、1949年から毎年、人権デーである12月10日を最終日とする**1週間(12月4日から12月10日)**を「**人権週間**」と定め、人権尊重の考え方を広めていくこととしました。人権尊重というとなんとかすごく難しい感じがしますが、決してそんなことはありません。

12月7日(月)の朝礼で、「民主主義〈1948-53〉中学・高校社会科教科書エッセンス復刻版(文部省著 西田亮介編)」という本の一節を紹介しました。

「世の中は、おおぜいの人々の間の持ちつ持たれつの共同生活である。したがって、自分自身を人間として尊重するものは、同じように、すべての他人を人間として尊重しなければならない。民主主義の精神が自分自身を人間として尊重するにあるからといって、それをわがままかってな利己主義と取り違える者があるならば、とんでもないまちがいである。自らの権利を主張する者は、他人の権利を重んじなければならない。自己の自由を主張する者は、他人の自由に深い敬意を払わなけれ

ばならない。そこから出て来るものは、お互いの理解と好意と信頼であり、すべての人間の平等性の承認である。」

人間は生まれながらにして幸せになる権利があります。これは、誰からも侵されることのない永久の権利です。しかし、忘れてはならないことがあります。自分に権利があるように、あなたの隣の人にいる人にも同じ権利があるということです。自分の幸福を追求するあまり、他人を不幸にしてはいけません。自分が楽しいと思っで行う行為が、人に不快な気持ちや嫌な思いをさせるならば、その行為をしてはいけません。なぜなら、その人の幸せになる権利を侵していることになるからです。そんなことは、当たり前ですね。しかし、当たり前のことを実行することがとても大切ですし、案外難しいのです。人はどうしても楽しいことに夢中になってしまいます。周りの人のことに注意が及びません。周りの人がどんな気持ちでいるのかに気が付きません。また、自分は良いとこだと思っやっったことも、間接的に誰かを傷つけてしまう場合もあります。そういうことについて、自分の行動を振り返り、考えていくきっかけとなるのが、「**人権デー**」であり、「**人権週間**」であると思います。皆さんも、自分の人権だけでなく、他の人の人権について考えてみてください。